



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年4月30日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東  
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,520	△13.8	△150	-	△152	-	△107	-
26年12月期第1四半期	1,763	10.1	220	△46.2	219	△46.2	131	△47.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△15.56	-
26年12月期第1四半期	19.07	18.18

(注) 平成27年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	3,235	2,759	85.3	397.49
26年12月期	3,455	2,866	82.9	413.05

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,758百万円 26年12月期 2,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年12月期	-	-	-	-	-
27年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 平成27年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

### 3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,000	△7.8	△500	-	△500	-	△500	-	△72.05
通期	8,500	31.7	300	101.1	300	98.3	180	714.2	25.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期 1 Q	6,939,360株	26年12月期	6,939,360株
② 期末自己株式数	27年12月期 1 Q	-株	26年12月期	-株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期 1 Q	6,939,360株	26年12月期 1 Q	6,918,720株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年5月1日(金)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和策により、企業収益は回復傾向にあり、緩やかな景気回復基調が継続されるものと期待されます。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内ソーシャルゲーム市場についても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注1）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第1四半期累計期間においては開発費用の先行投資が発生しておりますが、引き続き既存タイトルが安定して売上収益に貢献していることもあり、今後の新規タイトルのネイティブアプリケーション開発に積極的に取り組んでおります。なお、当事業年度には新規に6タイトルのリリースを予定しております。

また、アジア市場を中心に急速に拡大することが予測されるグローバルマーケットを背景に、国内だけでなく中国、韓国での展開を進めるために、開発・配信体制の構築に努め、グローバル展開による収益拡大を目指してまいります。

さらに、ゲーミフィケーション（注2）を活用したキャラクターアイテムの提供や0 to 0（注3）プロモーション活動も引き続き進めており、様々な企業と積極的に提携を行っていく所存です。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,520百万円（前年同四半期比13.8%の減少）、営業損失は150百万円、経常損失は152百万円、四半期純損失は107百万円となっております。

- （注）1. ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。
2. ゲーミフィケーションとは、ゲーム制作でのユーザーを楽しませるノウハウをゲーム以外に用いて、ユーザーの購買意欲や満足度を高めることをいいます。
3. 0 to 0とは、Online To Offlineの略でゲームにおけるユーザーのモチベーションやロイヤリティを利用して、実店舗における購買活動に結びつけ、実店舗における集客支援につなげる仕組みをいいます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて234百万円減少し、2,490百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少（前事業年度末比169百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて13百万円増加し、744百万円となりました。これは主に、長期前払費用の増加によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ220百万円減少し、3,235百万円となりました。

#### （負債）

当第1四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて113百万円減少し、410百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末に比べて1百万円増加し、65百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ113百万円減少し、475百万円となりました。

#### （純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて106百万円減少し、2,759百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期につきましては、既存ブラウザタイトルの売上減少の制御を行うとともに、既存ネイティブタイトルのチューニングを行い、安定した収益基盤の構築に努めてまいります。新規リリースといたしましては、6タイトルのリリースを予定しております。

また、国内ソーシャルゲーム市場の飽和に向けた対策として、中国、韓国での開発・配信体制の構築を推進してまいりましたが、これらの拠点の本格稼働と、中国、韓国のアジア圏に続き、英語圏への配信準備についても進め、グローバル展開による収益拡大を目指してまいります。

以上を踏まえた平成27年12月期の業績予想につきましては下記のとおりとなります。

第2四半期累計業績見通し(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

売上高	3,000百万円(前年同四半期比7.8%の減少)
営業利益	△500百万円
経常利益	△500百万円
当期純利益	△500百万円

通期業績見通し(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

売上高	8,500百万円(前事業年度比31.7%の増加)
営業利益	300百万円(前事業年度比101.1%の増加)
経常利益	300百万円(前事業年度比98.3%の増加)
当期純利益	180百万円(前事業年度比714.2%の増加)

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,328,908	1,159,710
売掛金	770,108	652,549
その他	625,552	678,087
流動資産合計	2,724,568	2,490,346
固定資産		
有形固定資産	237,997	229,998
無形固定資産	24,795	24,797
投資その他の資産	468,204	489,894
固定資産合計	730,997	744,691
資産合計	3,455,566	3,235,037
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,690	130,860
その他	414,684	279,622
流動負債合計	524,375	410,483
固定負債		
資産除去債務	64,892	65,076
固定負債合計	64,892	65,076
負債合計	589,267	475,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	865,850	865,850
資本剰余金	864,850	864,850
利益剰余金	1,135,598	1,027,617
株主資本合計	2,866,298	2,758,318
新株予約権	-	1,160
純資産合計	2,866,298	2,759,478
負債純資産合計	3,455,566	3,235,037

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,763,372	1,520,530
売上原価	1,250,972	1,387,392
売上総利益	512,399	133,138
販売費及び一般管理費	292,386	283,473
営業利益又は営業損失(△)	220,013	△150,335
営業外収益		
受取利息	152	131
営業外収益合計	152	131
営業外費用		
為替差損	289	2,767
営業外費用合計	289	2,767
経常利益又は経常損失(△)	219,876	△152,971
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	219,876	△152,971
法人税、住民税及び事業税	150,323	572
法人税等調整額	△62,409	△45,563
法人税等合計	87,913	△44,991
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,963	△107,980

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソーシャルアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。